

－ 研究・職務等経歴書 －

令和7年1月1日版

【歴史・文化財・伝統建築についての専門分野・研究テーマ等、所属研究会等】

- ・ 中世後期・近世城郭史（城下町） ※主に16世紀以降の近世城下町の形成過程について
- ・ 近世・近代民家史（町家，農家，漁家住宅）
- ・ 奄美群島の中世・近世史 ※城郭・墳墓など石造文化で読み解く民族史
- ・ 一般社団法人日本建築学会 近畿支部

【文化財登録や指定に向けた伝統建築の調査，重伝建地区登録に向けた調査，その他民家史研究】

[令和2年度]

◆富田林寺内町・東奥谷家住宅建築調査（主屋1棟，付属屋5棟）

近世末期の大型町家である東奥谷家住宅の主屋始め付属屋の特徴把握と価値を定める調査

※京都府立大学，富田林市教育委員会

◆北國街道木之本宿・明楽寺伽藍，各建築調査（4棟）

18世紀後期の伽藍の内，既に調査を終えている本堂以外の建築（山門，太鼓楼，鐘楼，庫裏）調査

※京都府立大学，長浜市教育委員会

[令和3年度]

◆亀岡・近世農家住宅調査（主屋2棟）

摂丹型民家主屋を国登録有形文化財にするための調査

※立命館大学，亀岡市教育委員会

◆北國街道木之本宿・近世近代町家調査（主屋6棟，付属屋多数）

木之本宿の余呉型町家の近世から近代に至る町家建築の総合調査

※京都府立大学，立命館大学，長浜市教育委員会

◆佐渡相川町・近代鉱山住宅建築調査

佐渡金銀山，佐渡鉱山の世界文化遺産登録を推進する活動の一環で，相川中京町の鉱山住宅や京町通りの街並みの歴史的評価を定める調査

※立命館大学，佐渡市世界遺産推進課

[令和4年度]

◆亀岡・旧丹波亀山城下伝建調査

城下町の総堀跡を含む伝統的建造物等の包括的な調査

※立命館大学，亀岡市教育委員会

◆信州諏訪地方・たてぐるみ土蔵建築調査

諏訪地方特有のたてぐるみと呼ばれる土蔵の構造形式から景観に至るまで包括的な調査

※立命館大学，小山工業高等専門学校，他

◆紀伊半島九鬼集落・民家建築及び石垣調査

九鬼集落の石垣によるテラス地形及び集落配置の、建築、民族、地学、防災的観点を含む包括的な調査
※京都府立大学、立命館大学、東京大学、静岡大学、他

[令和5年度]

◆**亀岡・旧丹波亀山城下伝建調査 継続**

城下町の総堀跡を含む伝統的建造物等の包括的な調査

※立命館大学、亀岡市教育委員会

[令和6年度]

◆**信州下伊那地方・阿智村駒場まちづくり調査**

駒場宿の伝統的景観及び建造物を保護しながら地域を活性化させるための包括的な調査、ワークショップ

※立命館大学、日本大学、信州大学、飯田市歴史研究所、阿智村協働活動推進課、他

◆**信州下伊那地方・阿智村駒場 旧銭湯玉の湯建築調査（1棟）**

駒場宿の大正時代建築の旧銭湯を国登録有形文化財にするための調査

※立命館大学

◆**亀岡市吉川町・奉安殿建築調査**

奉安殿を市指定有形文化財にするための調査

※立命館大学、亀岡市教育委員会

◆**信州下伊那地方・阿智村駒場 町家建築調査（主屋1棟、付属屋1棟）**

駒場宿の町家主屋及び土蔵を国登録有形文化財にするための調査

※立命館大学、日本大学

◆**大垣・輪中の水屋建築調査**

水屋と呼ばれる河川氾濫時の避難生活を考慮した民家の建築計画の調査

※立命館大学、大垣市教育委員会

◆**美濃町重伝建地区・町家建築断面調査（主屋2棟）**

美濃町の重要伝統的建造物群保存地区内の卯建の上がる町家の、板葺きから瓦葺きに屋根仕上げが変化する前後の小屋組みの変遷を把握する調査

※立命館大学

◆**紀伊半島日置集落・民家建築調査**

近代に材木商として財を成した民家群の主屋及び付属屋の建築調査

※京都府立大学

◆**史跡旧和中散本舗・大角家住宅付属屋建築調査（4棟）**

国指定重要文化財主屋と国指定名勝庭園を持つ民家の付属屋建築（離家、文庫蔵、米蔵、薬師堂）調査

※立命館大学、栗東市教育委員会

◆**南西予地方・文化的景観と戦後民家調査**

愛媛県南西部の重要文化的景観及び候補地の視察と、エリア内の戦後民家の抽出的調査

※立命館大学、信州大学、香川大学

◆**龍野重伝建地区・戦後民家調査**

龍野の重要伝統的建造物群保存地区を中心としたエリアの戦後民家の悉皆的調査

※立命館大学、たつの市教育委員会

【職能を活かした地域社会への貢献や建築士の研鑽に関わる取り組み】

公益社団法人大阪府建築士会では理事を務め、社会貢献部門 地域まちづくり委員会 防災分科会を担当している。同分科会では罹災証明書の発行支援や地震保険の鑑定調査支援体制の構築をおこなう他、応急危険度判定士として被災地派遣の待機要員にもなっている。また同委員会の**建築士の会 いずみ野**に所属し、地域の歴史や文化にまつわる市民参加型イベントや、建築士同士の研鑽のための勉強会などの企画運営を行っている。また令和4年度より**近畿建築士会協議会**に出向し、青年部会で研修事業の企画運営を担当している。

公益社団法人日本建築家協会(JIA)近畿支部においては、青年委員会に所属し「若手建築家へのJIA活動の発信」をミッションとして、若手会員による企画運営や建築家の魅力発信、近畿二府四県の6つの地域会の若手交流推進を図り会の内外に向けた様々な活動をおこなっている。また住宅部会に所属し、担当世話人としてこれまで過去6年間で5つの企画事業を実施した。

【メディア出演】

令和元年度にFMいずみおおつ(85.5MHz)で、レギュラー番組「北條豊和のお城てくてく」に1年間出演し、古代、中世、近世そして遺跡として現代に繋がる城郭の系譜を詳しく解説した。またこれからの未来のまちづくりや社会に城郭はどう活かされていくのか、現代に生きる我々にとって城郭とは何かを考察した。

令和3年度からは同局で、レギュラー番組「日々是建築」に出演しており、建築に関わる歴史、伝統、景観分野の専門家や、まちづくりや防災などの社会貢献に力を入れる建築家をゲストに招き、一般市民に対して都市・建築に関わる取り組みなどを紹介し続けている。(令和7年4月からは5年目)

【コミュニティマネジメント】

奄美大島・名瀬港近くの港湾倉庫をコンバージョンしたシェアオフィス「Amamin' Base」を令和3年11月に開業し運営している。奄美大島を訪れる観光客の平均宿泊日数が2.6日(※令和4年時、あまみ大島観光物産連盟調査による)であることを考えると、離島であるがゆえ宿泊日数の少ない多くの方が来る場合と比較して、人数は少なくても一度来た方に長く居てもらおうという観点が重要になると考えている。いわゆるレジャーによる延泊をしやすい環境づくりを基本に捉えつつ、コロナ禍を経てビジネス出張が減少すると予測される時代に、レジャーの合間にある程度まとまった仕事をするのでそのまま滞在継続できるような環境をもっと緻密に考えていかなければならないと感じ、ワーケーション拠点をつくることにした。

ワーケーションにはじまり、他拠点居住、そしてIターンを見据え、地域資源は既にそこに存在しているからこそ、来る人迎える人の相互の未来のため、持続可能な創意工夫がますます重要になると信じている。

【城と石垣の撮影活動】

21歳の頃から約18年間、全国の主に城郭跡や石垣の写真を撮り続けている。現在残る日本の都市の原型はいわゆる近世城郭と呼ばれる、安土桃山時代から江戸時代初期に築城もしくは改修された城郭が起点となっているケースが非常に多いことから、あらゆる都市の歴史を辿るおもしろさを味わいつつ、各都市において市民に今も愛されている城郭跡の姿を記録したいと思っている。

また「城郭史を知ることは都市空間を考える第一歩であり、現在と過去との絶え間ない対話が未来を創る」と信じて、温故知新の精神で建築設計活動へのフィードバックも試みている。

【公職歴（退任済みのもの含む）】

高石市空家等対策協議会 委員（H.30.4.1 ～ R.3.3.31）
熊取町空家等対策審議会 委員（R.2.2.1 ～ 現職）
熊取町公民館・町民会館整備検討委員会 委員（R.2.6.24 ～ R.3.3.31）
熊取町公民館・町民会館基本設計策定委員会 委員（R.3.4.1 ～ R.3.12.24）
泉大津市文化財保護委員会 委員（R.4.4.1 ～ 現職）
和泉市景観計画策定委員会 委員（R.4.7.21 ～ R.5.7.31）
和泉市景観審議会 副会長（R.5.8.1 ～ 現職）

【教職歴】

摂南大学 非常勤講師（R.6.4.1 ～ 現職）

【資格等】

一級建築士 国土交通大臣登録 第 352634 号
二級建築士 大阪府知事登録 第 52882 号
既存木造住宅耐震診断講習修了者
既存住宅状況調査技術者
大阪府被災建築物応急危険度判定士
広域災害調査技術者

【略歴】

1985 年 堺市生まれ、和泉市育ち
2004 年 大阪府立鳳高等学校 卒業
2009 年 京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科 卒業
2009～2011 年 株式会社莫設計同人 勤務
保育所や障害者・高齢者施設の設計を担当し、社会福祉施設のあるべき姿を模索した
2011～2013 年 小田裕美建築設計事務所株式会社 勤務
社会福祉施設に加え、住宅や事務所・商店建築を担当し、広く社会の需要に応える設計の在り方を追求した
2013～2015 年 住友不動産株式会社住宅再生事業本部 勤務
主に住宅やアパートなどの小規模建築の再生・改修を数多く手がけ、暮らしに密接に関わる幅広い需要に応えてきた
2015 年 北條建築事務所 設立
専門性の高い医療・社会福祉施設の設計を主軸としつつ、住宅や宿泊施設、事務所、商店建築など、用途・構造・規模、新築・改修問わず、幅広い設計活動を行ってきた
2018 年 株式会社 北條建築事務所 改組
2021 年 シェアオフィス Amamin' Base 設立
2024 年 環境文化史創造研究所 設立